いわき民報
平市田町四八　電話一三八
編輯兼發行人　千葉克巳
印刷人
日刊（但月曜を除く）
定價一月卅五円　一部一円三十錢
發行所　いわき民報社

喘ぐ市の上水道

斷水續出に非難高まる

市内田町南町方部の一部は最近日中や夕食時に水道の斷水をみることが多く殊に第一中學附近から子ぐわ倉神社にかけての高台などは朝チョッと出るだけであとは斷水といつた始末に非難の聲が高い、殊に第一中學附近の高台は終戰以來のことであり、今日再三、再四市水道課に對して修理檢査方を申込んでも更に改善されぬとあつて、市は水道料のみ徴收しながら水を出さぬのは詐欺行爲にも等しいとの市水道課不信の聲があがつている

餘りに不誠意

市への信頼も消滅

もう齢三十年に及びこの間水害や戰時中の資材不足等が祟つて滿身傷痍の態である、沈澱池の故障も終戰以來幾多の犧牲を拂つて修理にあたり、此の程漸く一應の修繕成つたが、爐過池も長年の事に自然いたみ出しているところへ、古河好間礦の地下採掘で漏水が甚だしく昨年來修理しているが、雖事業で急速には出來ずいぐら急いでもなお三ケ月からはかゝる決して放任しているのではない、この點了解していただきたい此の修理さえつけば御迷惑はかけぬと思う、それにしても夏季でみな水使いがあらいから水壓の低い方は一層出が悪いのだと思うからお互いに水の節約に協力していただきたい　又第一中學附近は高台ないのにもかゝわらず何故かあの地點のみ高水槽から でなく低部から導水しているので水壓がないのでくのである、此の點については目下研究を重ねているから暫くお待ち願いたい

市の水道課の談

滿身傷痍の水道

事情御推察を

右について市水道課では次の如く辯明している

何分にも市の水道は火上にも大きな問題である、市は果してどんな考えでいるのか、市民の信頼などこの一事で消滅してしまう　收入難をいくら水道課に對して修理檢査方を申込んでも何等改善されない、過日も第一中學校に進駐軍が視察に來られたときも、同校で水が出ずやむなく他から貰い水して胡麻化していた有様である　夏季衛生のやかましくさけばれ、衛生週間などゝ銘打つて運動しながら一方に於てこの不誠意では何にもならない　特に火災時なぞ防

子鍬倉神社邊の氏子の談

終戰以來水道ばゝ朝のうち出るだけで十時ころは斷水だ　頼などこの一事で消滅

造林事業を阻むもの

民報論壇

戰爭中に濫伐された森林が造林されない爲に豪雨がある都度水害を與えているので今や造林事業は焦眉の急となつている、わが石城郡下の狀況をみると造林を必要とする山は國有林に於て三萬七千町歩民有林が四萬三千町歩合計八萬町歩といはれる、この廣いハゲ山が一度豪雨に遭うときは治水作用を行はないので忽ち下流河川にはん濫して被害を與えるのである、そればかりでなく學校や住宅建築を始め地方復興事業に森林はどし〳〵伐つているので造林の必要は非常に重要性をもつている　右の面積中自然に森林化する場所もあるが、國有林を見ると平營林署管内は植林を是非共必要としなければならぬ面積は九二三町歩で内二十三年度の造林豫定計畫は僅かに二十町歩に過ぎず、植田營林署管内も、これと大同小異であろう　又民有林は石城地方事務所指導のもとに二十三年度造林豫定計畫は僅かに三百町歩であるが現狀勢下に於てはこれだけの實施さへ困難だとの杞憂さえある

造林事業がうまくゆかない原因は先づ第一に苗木が不足していること　郡下に苗圃が廢止されて食糧をとる田畑に變つたため現在では僅か七町歩位しかなく、これから採れる苗木は約二十萬本ばかりである、隨つて他より移入して造林しなければならぬ有様であるが、殊に注意しなければならぬことは山林所有の民間人が造林意慾に乏しいということである、原因は農地法による田地開放の後に來るものは山林開放であるとの流説を信じ切角造林しても開放させられゝばなつているからであるそれでこの所有權に對する不安が除去されない限り造林事業は急速に出來ない情況にあるが、われ等の知る範圍に於ては現行森林法はその筋の檢閲も濟み著しい改變はないものと思う、日本占領國の米國の森林法も日本の現行森林法と大差ない内容であるといはれる點からもかくうなづけるのである、然し斯うした民間人の不安がある以上造林事業は進展しないのであるからこれに對して政府はその責任に於てはつきりした聲明を行い不安を一掃する必要がある又營林署や縣に於ても本問題の見透しを充分に研究の上納得の行く指導と督勵を行うと共に又關係方面に於ても充分協力して本事業の飛躍的遂行が可能になるよう希望するものである

（田原）

早急に店開き

小名濱圖書館設立あす準備委員會を

小名濱町では各文化團體代表、學校長等から接安定所へ申込ようになつており最近職場を離れた者は大いに利用して下さいと呼掛けている

なる圖書館設立準備委員會を八日役場に開き今後の運營方法や館則など具體的な話を進めるとこれに依つて早速店を開くことになつた同圖書館は有料とし現在文化協會並に町會議員外有志より一千さつに近い書籍が寄附されており更に町民へも呼掛け今年中には三千さつを目標に整備したい方針で進んでおり今後はこれを母體として公民館に發展させる計畫である、なお同圖書館は元警部派出所階下を當て階上は公民館とする見込み

失業保險の受給者增加

効果あつた移動展

平公共職業安定所では先月十日間の豫定で失業保險趣旨普及移動展を市及び郡下各町村へ巡回し啓蒙運動を行つたがその後受給資格者が增加の傾向を示し現在一倍半の十四名が屆出たこのうち女性五名が含れている

この失業保險は本人がこの人たちの年齢は二十才台から六十才台まで老若共に含れ日額二十圓から最高六十九圓まで半年間支給されており職場を辭めた翌月の二ケ月平均給を基礎にしてこの支給額を算定している

常磐炭業會成る

鈴木傳明氏を會長に推して

常磐炭田の（常磐古河炭礦を除く）低カロリー炭すると共に組合内部が業會を結成した

を採掘する炭礦五十五分裂し暴力的斗爭になはカロリー制による炭るおそれから青年行動價改訂により死活の重隊の派遣八日から十日大問題として過般來政府筋に接衝を續けて來たが、此れを機會に炭價の適正化及び品位向上をはかるため五日常磐炭業會を結成會長に鈴木傳明氏が就任事務所を平市仲町一四大和炭礦事務所におくことになつた　同時に茨城地區は同目的で茨城炭

敢行するとに態度決定した　なお八日中央委員會にも東北地協にも同問題を全面的にとりあげることに決つたので成行を重視されている

大東鑛全石脫退

既報大東礦では去月共斗爭段階として、先づ十五日組合員百八十名の馘首案は撤回したが資金ガンパ運動を展開は大東礦問題を重視、の馘首を再度申しわたした、その中には二産黨員十四名が包まれており組合側では馘首の根據が何等ないところから同日臨時大會の肝いりで山崎與元郎を開催したが資格審査問題等から首切反對派は憤然退場したので殘留組合員の贊成により松村議長は全石炭脫退を決議した

青年行動隊派遣

全石が大東礦へ

防犯協會設立へ

平市署の強化目指して

平市署の防犯能力を強化して行こうと今度市内選出代議士　縣議、市議を始め各町内有志の肝いりで山崎與元郎氏を委員長に防犯協會設立準備會が誕生したこの協會は優良警官の表彰は勿論　かん識機や寫眞機自動事等防犯設備上絶對必要なものの整備を目ざし今月中に百五十萬圓を目標に一般市民から寄附を仰ぐことになつており九地）

日には各委員が平市署へ參集し會員募集などの具體的方法を協議、十日から本格的な會員獲得運動に乘出すことになつている

小名濱署の新陣容

小名濱町署ではこの程次の如く署内の異動を發表した、これに依つて當分防犯主任は欽員となる（括弧内は舊任）

▲仙台地方警察學校入學、巡査部長渡部富男（防犯主任）刑事係巡査新谷至誠▲第五區受持の勤）▲第五區受持外勤巡査猪越芳松（住吉駐在）▲住吉駐在巡査赤間清義（内郷署）

一言

▲水道課の苦しさも解るだがもつと市民と接觸を保つたら如何▲修理の苦しさもあろう、知らせぬことには市民の不平もあるというもの御再考を▲郵便局貯金も金詰りをもの語る、一體金は小人二十錢の處は十錢に値上げした

一二十の扉解答者決定發表

かねて廿の扉解答者を人氣投票の結果左の如く決定しましたよつて十日夜七時から本社ホールに解答者打合會を開きますから恐縮ですが御出席願上げます

十四日の大會當日は晝の部の方は十二時夜の部の方は六時までに世界館隣鈴木寅次郎氏宅に御參集願います

晝の部（敬稱略順序不同）

第一組

桑原醫骨院人　桑原キナ子
中放送局長　青田三郎
中自警署長　本田正治
中商　教官　石崎久雄
中市　長　鈴木辰三郎

第二組

婦人　警官　和田昭子
中驛　助役　石井久治
警女　教官　鈴木光四郎
一中　教官　橋本武天
中東寶館主　佐藤子之吉
中營林署長　小池千惠子
作家　河内潔士
作家　富澤有爲男
中製作所　稲島正
瀧川電氣商會　瀧川保雄
縣市會議員　馬目武之助

夜の部

第一組

金成醫師夫人　金成キミ
いわき民報社　千葉克巳
大和炭礦社長　鈴木傳明
磐高　教官　木澤一郎
中商　教官　渡邊勉
さかいや店主　岡崎榮藏
醫師　渡邊久
スポーツ聯盟　永野孝天
市會議員　柴田德二
古河炭礦　杉山京次

第二組

平文化洋裁學院長　片寄幸子
福島民報社　遠藤節
大井川鑛業所長　大井川幸隆
市井茂
磐中　教官　柴田喜登
トウトランプ平出張所長　井上正
齒科醫師　荻原義雄
スポーツ聯盟　金古政通
市會議長　坂井清之助
常磐炭礦　木山茂

夜の部

主催　白銀青年會
引揚連盟平支部

御贈答用品……
……全店にいろいろ
……ゼヒ御用命の程を……
平市三百貨店
三井
電話284

CONTAX
現像・焼付
引伸
附帶品や修理
良心的の
茂木カメラ
平市平和通り

電藤新設
五七八番
平市三丁目
田中カメラ

湯本共同浴場料金値上
湯本町共同浴場入浴料は五日から大人四十錢の處一圓小人二十錢の處十錢に値上げした

開拓入植打合せ會
縣開拓課並地方事務所では七日午前十時から市内マルトモホールに郡下、双葉南部の開拓入植者並に增段者の再確認を行うため各方部の代表者を集め、種々意見を聴いた

板の告知

マスヤの

有名な木下洗劑の洗濯用固形洗劑の代行販賣致しましたところ皆様の御好評を得ましたので御禮のため

特價提供期間を七月末日までに延期致します

洗濯盛期にあたり、層の御愛用を切にお願ひ申します

併せて斯界の王者たる山形纖維の

純綿の家庭面の脫脂面の特約賣捌所

にもなり一袋二十五圓で特賣致します

故御婦人皆々様の御試用を是非お奬め申上げます

◎行商希望の方は御來談下さい　特に御相談致します

木下洗劑製作所代行店
山形纖維工業有限會社特約店
平市長橋町　マスヤ商店　姪田利光

内科　外科　小兒科　レントゲン科
金成醫院
平市鍛冶町電八二
醫師　諸橋一郎

白土館沒落の歷史

② 磐城史談會員　鵜沼孝昌

要　白土館沒落の記錄大永祿二年春（一、二一九年）第廿五代磐城常隆公は家督相續した然るに、年四十歲迄嗣子なし、そこで家老白土攝津守隆秀に相談した處、たか秀等人役を定めしめた。

隆、妙見館主、今の中神谷にある神谷殿と號す）同家老增田左衛門隆秀は常陸國太田城主佐竹義重の三男能化丸を養子として君と爲さんと申出でた、常たか公は之を容れ、佐竹氏に懇望して、承諾を得た、この能化丸が卽ち、第二十六代磐城貞たか公である。

佐竹家は知行百二十万石の大家であるから、養君能化丸の附侍が三十人もあつた、然るに磐城家は、初代以來磐城各村の館に多數の同族を配置して國防第一としていた關係上、附侍三十人に配分すべき知行の餘地が無かつた、そこで常たか公は密に增田たかつ、增田をして、斷然竿打の勿來町）等思ひ〳〵引續き退身の諸士もあつた。

しら土の嫡子たか重は父の舊能化丸を供ひ出て〻之を字都宮に迎ひ、秀吉の家老增田右衛門長盛に賴り家督を乞う、許さるこれを磐城忠次郎貞たかとす、磐城十八万石を領す

白土館沒落の記錄

口碑と記錄との比較

早く親切に

ニュースタイル

洋裁店 世界館前

詰つた大衆の財布

平局と小名濱局の貯金にみる

今年度に入つてからの平郵便局貯金課窓口の動きは

【四月】受入三、六〇五、六五六圓、拂出二、四六八、五七三圓【五月】受入二、八三五、七八九圓、拂出二、〇一〇、七五一圓【六月】受入二、五八八、九五四圓、拂出一、九〇九、三七七圓

で差引四月以降黑字になつているが然しその黑字も毎月減少の傾向を示し四月は一、一三七、〇八三圓、五月八二五、〇二八圓、六月六七九、五七七圓となつている、一方小名濱局の動きを見ると

【四月】受入一、二二三、七六一圓、拂出九八九、四九一圓【五月】受入八二六、七八六圓、拂出一、二一四、二八二圓【六月】受入八八一、二六三圓、拂出八六五五一圓

で四月は八四〇、二七〇圓の黑字、五月は三八七、四九六圓の赤字、六月は一五、七五二圓の黑字に變つている

最近の黑字が減つて來ている平局ではこの原因についてはまだはつきりしたことは判らないと云つているが金詰りが深刻になつた近頃の市民の懷ろ具合の現れと見ている模樣、小名濱局でも二年越しの鰯不漁で火の消えたような淋しさになつた街の反影として赤字になるのは當然とされているが然し五月に三十八萬圓も赤字を つくつて翌六月にはは僅かながら黑字に。一式を寄贈することに盛返したのは町民のなり町民を感激させて容易ならざる決心の現れとして感激している、同氏はさきに東京古川電機から四倉座ついてカツオも大し町が戰災引揚者の收容た期待持てない頃に困つているのをみて

齊藤氏の美學

ラジオセットを高校と中學校へ

四倉町仲町海盛座主齊藤彌三郎氏（四〇）は新制高校と中學PTAで教育資材としてラジオセットを贈つて兩校に各室別にスピーカーマイクその他一式を寄贈することに盛返したのは町民のなり町民を感激させて容易ならざる決心の現れとして感激している、同氏はさきに東京古川電機から四倉座

下つた徵稅成績

郡下の國稅と縣稅附加

郡下の二十二年度國稅附加稅及び縣稅の七月一日現在の徵收成績は附加稅調査額二九、〇八六圓九八錢に對し徵收高は七割九分三厘の二、三、〇七三圓三九錢、縣稅

カツオ漁回復か

各船とも續々歸港

小名濱水產試驗場無電勝丸は四、五千貫の漁局への入電によれば最近カツオ漁は幾分餌付も良くなり回復して來たものの如く各船とも カツオを若干漁かくしている、六日には午前と午後相前後して榮福丸（中の作）福盛丸（江名）がそれ〳〵母港へ入港し更に香取丸（小名濱）清勝丸（江名）も百五名の申込みが殺到 住宅難を反映、早くも 程竣工したが 深刻な 現れとして感激している即ち鰯の不漁に ついてカツオも大し た期待持てない頃に困つているのをみて

四倉町の庶民住宅

組合せ式で一八戶に二十一世帶

四倉町町營住宅はこの

は目的稅一七一、六五〇圓九七錢に對し徵收は九割五分八厘の一六四、五二〇圓一七錢

獨立稅二四、八一二、八九一圓七九錢に對し同じく九割五分八厘の二二、五〇三、五五七圓三四錢附加稅と縣稅合計課稅額二五、〇一三、六二九圓七四錢に對し二二、六九、一五〇圓九〇錢の徵收率は九割九厘で二十一年度の同期の八割九分二厘に比して低下している滯納の多いのは小名濱町で主に船舶稅が百萬圓調定のところ徵收高は五萬圓そこ〳〵、此の成績不振は濱の景氣にも左右されるものし今年の三月に課稅し で六月一杯に徵收せねばならなかつたところに原因があると地方事務所側も手落ちを認めている

精神科
平市塩釜小路
新田目醫院
アラタメ
電15

齊藤氏の美學

ラジオセットを高校と中學校へ

四倉町仲町海盛座主齊藤彌三郎氏（四〇）は新制高校と中學PTAで教育資材としてラジオセットを贈つて兩校に各室別にスピーカーマイクその他一式を寄贈することに盛返したのは町民のなり町民を感激させて容易ならざる決心の現れとして感激している、同氏はさきに東京古川電機から四倉座

木材檢査現則說明

石城地方じ務所林務課では二十日午前七時から本社樓上に管內木材業者を集め、木材檢査規則普及會を開く二十一日は四ッ倉方部の業者を集め行う、場所未定

衣料品
呉服と洋品と有名化粧品と小間物
レコードと樂譜樂器と
貸器
附類屬雜誌
平市四丁目　電2668電
山吉商店

映畫教室

平映畫教育協會の映畫教室は六日から市內世界館で開催中だが、十二日までつづけられるプロは日本ニュース、魔法のペン、おやゆび姫、登呂、コドモ世界

金庫は甲子（キノエネ）

大型・小型・手提

（在庫豊富）

廣屋金庫部
小名濱　電話一六八

文化ニュース等で人氣を呼んでいる

ミマツ開店

平市三丁目大通りに八日から華々しく開店した納涼滿點の氷專門店ミマツが水族館のように美しく現はれて街行く人々を吸ひ込んでいる

小名第一校納涼音樂會　小名濱第一小學校では夏休みを前にして十九日午後一時より同校講堂に納涼音樂會を開き父兄たちを招待する

郡山大火へ見舞五千圓

市では郡山市の大火へ見舞金として五千圓贈ることになり七日山野邊社會課長が市長代理として郡山市役所へ赴いた

小名濱兒童達の潮干狩　海のシーズンを迎えて小名濱第一小學校では七日午前中各學年が單位となつて樂しい潮干狩を行つた　同第二小學校では八日同樣潮干狩を行う豫定

坑夫感電死

七日朝八時十分ごろ好間村下好間字椎木平小田炭礦平坑々夫佐藤安成さん（三）は同坑でズリ積込作業中誤つて電せんにふれ感電死した

一夜に二軒てやられる　草野村下神谷字澤帶農鈴木武雄さん（五一）方では六日夜物置のリヤカーからタイヤとチューブ各四本を盜まれたがリームだけは隣家の畑の中に投げすてゝあつた　又同字龜下農新妻金次郎さん（五五）方でもリヤーカの片側だけ盜まれた

御挨拶

今般當營業所に於て小名濱＝平間の小荷物定期輸送を開始致しました毎日住復致してをりますから何卒御利用の程御願致します

輸送開始　七月一日

區間小名濱＝湯本＝綴＝平

市內集荷配達を致します

連絡所　平市鍛冶町（電五三一）

電話一九四番　磐城貨物本社　小名濱第一營業所

水!!
イチゴ
レモン
バナナ
各種
專門の店として開店致しました
平市三丁目大通
ミマツ

御挨拶

今般平市の防犯對策を強化する見地より不貲等相謀りまして會の設立を計畫致しましたが之に要する運營資金は本會の趣意に御贊同下された有志の淨財に俟より途なき次第ですねがわくば知省名有識の皆樣御贊同あられんことを御願ひ致します

昭和二十三年七月七日

防犯協會設立準備委員長　山崎與三郎

外委員一同

化粧料
ハピネス
化粧の秘訣公開
帝都一流のマネキン孃來る
7月8日より下記にて順次美粧相談
一（特約店）一
八日　平市　マサゴヤ百貨店
九日　湯本町　相馬屋商店
十三日　湯本町　丸丹百貨店
十四日　植田町　菅野商店
十五日　四倉町　馬目油店
十六日　平市　フジヤ百貨店
十七日　勿來町　安田屋商店
十八日　湯本町　峰藥局
十九日　小名濱町　一條藥局
二十日　勿來町　羽山商店
此のチャンスをお逃しなく
美粧の御相談を—

御挨拶

今般當營業所に於て小名濱＝平間の小荷物定期輸送を開始致しました毎日住復致してをりますから何卒御利用の程御願致します

輸送開始　七月一日

區間小名濱＝湯本＝綴＝平

市內集荷配達を致します

連絡所　平市鍛冶町（電五三一）

電話一九四番　磐城貨物本社　小名濱第一營業所

電話變更御知らせ
（平）七三二番
平市四丁目マルトモビル
佐藤鐵工販賣部
營業品目
メタル、シャフト、プーリー、一般工具（高級農具用）
ベアリング、鐵管綴手、バルブ、コック、水道管、
ボールトナット、酚漆、電鍍熔接器具、
工具と機械